海外日系人歓迎レセプションにおける大臣挨拶

こんばんは。外務大臣の岩屋毅です。第 65 回海外日系人大会の開催に際し、一言ご挨拶申し上げます。まずは、世界各地から日本にお集まりいただいた、150 名を超える日系人の皆様を、心から歓迎いたします。

また、本日ご出席を賜りましたご来賓の皆様に御礼申し上げますとともに、今回の大会の開催に向けて御尽力された、海外日系人協会をはじめとする関係者の皆様に感謝申し上げます。

私が昨年 10 月に外務大臣を拝命して最初に開催したレセプションが、まさに、この海外日系人歓迎レセプションでした。

また、外務大臣として最初の外国訪問先は、A P E C 外相会合が開催された南米ペルーでした。その際にも、現地の日系人の方々からお話を伺ったほか、ペルーの移住史料館にも足を運ぶことができました。

また、今年 3 月には、東京で在米日系人リーダーの方々ともお会いする機会に恵まれました。

こうした出会いを通じ、日系人の皆様が多くの苦難を乗り越え、世界各地で、また、世代を超えて、活躍されてきたことに、深い感銘を受けました。

昭和 32 年に第一回にあたる海外日系人親睦大会が開催されてから 67 年が経ちました。日系人の皆様を

取り巻く状況も大きく変わり、また、直面する課題も多様化しています。

本日この場には、数世代にわたって困難を克服し、信頼を勝ち得てきた日系人の方々、仕事や国際結婚などを通じて日本から海外に移住し、現地社会で御活躍されている新しい日系人の方々など、多様な背景をお持ちの日系人の皆様が参加されています。

こうした皆様が一堂に会し、日系社会の課題や日本との協力の方途、日系社会の発展のための「新たなつながり」について考えることは、非常に重要なことだと考えます。

日本政府としては、引き続き、こうしたつながりを大切にしつつ、日系人の皆様との連携を強化し、共に歩んでまいりたいと思います。

結びに、本日、世界各地からお越しいただいた皆様のご健勝、そして日本と各国との架け橋としての更なるご活躍を祈念し、私からの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。